

基本方針 1	専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民の調査研究に対する支援機能を充実する。									
重点目標 1	課題解決支援サービスの推進									
重点取組	資料の分担分野に対応した課題解決支援サービスの充実									
評価指標	レファレンス処理件数（個人）									
	27 年度末	28 年度末	29 年度末	30 年度末						
目標値	—	46,250 件	48,000 件	50,000 件						
実績値	35,486 件	42,938 件	33,205 件	35,512 件						
重点取組の評価	<p>レファレンス処理件数（個人）は前年度比 7%増となり、事項調査、所蔵調査、利用案内（簡易な質問）ともに増加した。一定の進捗はあったが、実績値は目標値の 71%に留まり、目標に至らなかった。</p> <p>浦和分室の約 5 か月間の休室、12 月のシステム更新に伴うレファレンス受付停止期間が発生したこと等が一因と考えられるが、その分を加味しても、目標値との乖離を埋めることはできなかった。</p>			<table border="1"> <tr> <td>28 年度</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>29 年度</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>4：目標に達している 3：目標の 80%に達している 2：目標に至っていないが、一定の進捗が見られる 1：目標達成に向けた進捗が見られない</p>	28 年度	3	29 年度	2	30 年度	2
28 年度	3									
29 年度	2									
30 年度	2									
行動計画実施状況・成果	<p>1 ビジネス支援室（熊谷図書館）の充実及びサービスの充実／健康・医療情報コーナー（久喜図書館）の充実及びサービスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料増額申請により図書・逐次刊行物の充実を図った。 外部データベースを新たに 2 種契約し、2 館計 23 種のデータベースを提供した。 <p>2 県民の生活や経済活動を支えるビジネス関連情報提供の推進／県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座・講演会、相談会、資料展示等イベント開催し、視察を受入れた。 (2 館計 74 回（前年比約 1.4 倍）、参加者数延べ 2,456 人（同約 1.3 倍）) 情報リテラシー支援のため、ビジネス、健康・医療に関する調べ方講座を開催し（開催回数計 4 回、38 人参加）、テーマ別「調べ方案内」「資料リスト」を作成した（合計 6 点）。また、「仕事に役立つリサーチガイド@埼玉」「健康・医療情報リサーチガイド@埼玉」を、館内および県内図書館、連携機関、外部イベントを通して配布した（計約 11,000 部）。 連携機関の研修・イベントへ講師を派遣（計 9 回）、外部イベントへ出展（計 6 回）し、連携機関を通じた広報を推進した。 新たなイベント、研修として、県民向けに「女性のためのプチ起業はじめ方セミナー」（創業・ベンチャー支援センター埼玉と共催（29 人参加））、県職員向けに「県庁職員向けデータベース活用講座」（24 人参加）、県内公立図書館職員向けに「健康・医療情報基礎研修会 一般研修/専門研修」（計 5 回 延べ 139 人参加）を開催した。 									
総合評価 (平成 28 年度～平成 30 年度 成果・課題)	<p>課題解決サービスの推進については、ビジネス支援室、健康・医療情報コーナーの充実、連携先の拡大、多彩なイベント開催や情報リテラシー支援ツールの作成等により、毎年着々と成果を上げてきた。その結果、課題解決に役立つ資料・情報が揃い司書の情報探索支援も受けられる公的な情報提供機関として、信頼を寄せられるようになり、新たな利用者層を拡大した。また、レファレンスの基本に関する館内研修を若手職員向けに実施し、来館者の質問を引き出し、対応する力の育成に努めた。</p> <p>レファレンス処理件数については、目標値は達成できなかった。利便性のよい旧浦和図書館が閉館したこと、浦和分室の工事休室、ウェブサイトでの受付停止期間の発生など運営上の要因とともに、インターネット上で様々な情報公開が進んだことなど、社会環境の変化の影響も考えられる。</p> <p>しかし情報の溢れる時代だからこそ、信頼できる情報を効率的に入手したいというニーズは高まっており、課題解決サービスの取り組みを通して、豊富な蔵書と専門職司書集団という県立図書館の持つ資源が役立ててもらえることも見えてきた。</p>									

【重点目標 1 重点取組評価シート】

平成30年度末

	今後は、研修等を通じ、職員のさらなるレベルアップを図ってレファレンス対応力を強化するとともに、2館の重点サービスの専門性を生かして様々な関係機関へ働き掛け、県民の多様な情報要求に対応し、具体的に何ができるのかを広報していくことが求められる。またウェブサイトわかりやすく改善し、非来館型サービスに一層取り組んでいく必要がある。		
参考指標(事業統計)	28年度末	29年度末	30年度末
指標 1	ビジネス支援、健康・医療情報関係レファレンス処理件数(個人)		
実績値	430件	405件	411件
指標 2	ビジネス支援、健康・医療情報関連イベントの開催回数・参加人数		
実績値	57回・484人	52回・1,824人	74回・2,456人
指標 3	レファレンス協同データベース提供件数・アクセス件数		
実績値	8,067件・3,302,655件	8,314件・4,124,490件	8,537件・2,718,375件
指標 4	ウェブサイトアクセス件数・更新回数(ビジネス支援サービス、健康・医療情報サービス)		
実績値	14,452件・47回	12,337件・47回	14,638件・32回
参考指標(満足度)	28年度末	29年度末	30年度末
指標 1	利用者アンケート		
実績値	4.1(5段階評価)	4.1(5段階評価)	4.2(5段階評価)
指標 2	利用者ウェブアンケート		
実績値	66.7%が「満足」「やや満足」	66.6%が「満足」「やや満足」	未実施(システム更新のため)
指標 3	イベント参加者アンケート		
実績値	4.5(5段階評価)	4.7(5段階評価)	4.5(5段階評価)

参考(丸囲み数字は行動計画 No.)

行動計画【重点取組に対応する取組】	○:計画	●:実施	→:継続	H28	H29	H30
①【ビジネス支援室(熊谷図書館)の充実及びサービスの充実】 ・最新のビジネス関連資料、オンラインデータベース等の各種ビジネス情報源の充実を図り、レファレンスサービスを推進する。		●		●	→	→
②【健康・医療情報コーナー(久喜図書館)の充実及びサービスの推進】 ・健康・医療情報資料、情報源等の充実を図り、レファレンスサービスを推進する。		●		●	→	→
③【県民の生活や経済活動を支えるビジネス関連情報提供の推進】 ・ビジネス支援関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『仕事に役立つリサーチガイド』の改訂・配布を行う。		●		●	→	→
④【県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進】 ・健康・医療情報関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉』の改訂・配布を行う。		●		●	→	→
⑤【非来館型レファレンスサービスの推進】 ・ウェブサイトからのレファレンス受付等、非来館型レファレンスの推進を図るとともに、2館が一体となり迅速な調査・回答に努める。		○●		○●	→	→
⑥【レファレンス事例データの一般公開の推進】 ・レファレンス事例データを適正に入力・管理し、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への計画的提供に努める。		○●		○●	→	→